



報道機関 各位

<タイトル>

エビ網漁の解禁・水揚げについて

<タイトル>

昔ながらの綿糸を使ったエビ網漁 8月1日に解禁 水揚げは2日から

<本文>

綿糸を使った網でイセエビを獲る太海浜地区の「エビ網漁」が8月1日(月)(水揚げの日は2日)から解禁となります。今もなお、この漁法が約40世帯ほどの漁師に引き継がれています。

エビ網漁は、前日に海中に仕掛けた網を夜明け前に引き上げ、網に掛かったイセエビを獲るという漁法。ほかの地区の漁師たちは、耐久性に優れたナイロン製の網を使用するなか、太海浜地区では、昔ながらの綿糸の網を使用しています。綿糸は、掛かったイセエビへの締め付けが少ないこと、海底に引っかかった網が海中で溶けるなど、海や環境、自然にやさしいことから、水産資源の保全として取り組んでいるものです

■解禁日時 令和4年8月1日(月)

■取材について 解禁日となる8月1日(月)の夕方午後5時ごろに網を掛けて、網を海から引き上げるのは翌日8月2日(火)の早朝となります。

※写真撮影のタイミングとなる、掛かったイセエビを船から港へ水揚げする様子や綿糸網から外す作業は8月2日(火)おおむね午前4時30分から30分~1時間程度です。

■場 所 浜波太漁港付近(太海浜89-5)

■太海浜地区の綿糸網を使ったエビ網漁の特徴

- ・綿糸の網を使用しているため、必要以上にイセエビを締め付けることなく、イセエビを傷つけにくい
- ・綿糸は海中で溶けるため、切れた網による漁場の汚染がない
- ・綿糸の網はゴミが絡まりにくく、また切れた部分も補修しやすい
- ・漁の最盛期は8月、次いで4月、5月

※急遽、変更があった場合に連絡できるようにするため、当日、取材を予定している記者の方は、8月1日(月)までに秘書広報室 熊切までご連絡ください。

※当日は、波の状況などにより漁を中止する場合がありますので予めご了承ください。

■■■■補 足 資 料■■■■

1.組合名 太海浜海老網組合

2.組合長 大谷 光

3.所属員数 約40名

4.その他 当日の水揚量、販売額が確定するのは、正午以降です。

問い合わせ

企画総務部 総務課 秘書広報室

広報広聴係 担当:熊切・渡辺

TEL04-7093-7842 FAX04-7093-7850